都合により掲載いたしません
本誌をご覧ください

江戸文化が面白い

国際交流センター「春期日本語プログラム」受講のマリーナさん

参加者のひとりウクライナのマリーナ・トレチャクさん＝写真＝に話を聞いた。

◇

国際交流協定校などの学生が本学国際交流センターで日本語や日本の文化を学ぶ春期日本語・日本事情プログラムが5月9日から6月7日まで行われた。期間中、カナダのカルガリー大学生など41人が参加した。

キエフのタラスシェフチェンコ国立大学で日本語を専攻しました。現在は医薬品の会社に勤め、仕事をしながらウクライナ日本センターで日本語を勉強しています。

「日本語の力をもっとつけたい」と専大の春期プログラムを受講しました。念願の来日です。

江戸時代の文化に興味を持っています。『曽根崎心中』の近松門左衛門、俳句の松尾芭蕉、浮世草子の井原西鶴。町人や商人など庶民が中心になって文化をつくった点が何よりも面白い。さらに、教育など現代日本が抱える社会問題にも関心があります。プログラムの最後には、日本人の晩婚化をテーマにプレゼンテーションをしました。

将来は、日本語や日本で体験したことを仕事に生かすことができたら、と思っています。

居ながらにして留学気分

国際研修館に４人のレジデント・アシスタント

▲　留学生と一緒に。前列左から小山内、１人おいて小野、三川、姥のＲＡのみなさん＝国際研修館で

生田キャンパス近くの国際研修館には、さまざまな国から来日した留学生が滞在する。その留学生たちの日本での生活が快適で有意義なものになるよう支援しているのがレジデント・アシスタント（ＲＡ）だ。同研修館には現在、学生４人がＲＡとして常駐、留学生の相談相手となっている。

５月は、春期日本語・日本事情プログラムが開講され、長期の特別聴講生のほか、カナダやシンガポールなどから多くの短期留学生が同研修館に滞在した。

ＲＡは、館内のさまざまなトラブルにも対処し、急病に際しては病院に付き添うこともある。日本語レッスンのサポートも頼まれる。５月にＲＡになったばかりの三川愛佳さん（文３）は「宿題のチェックを頼まれました」。

姥絵里香さん（文４）は休日に留学生たちと浅草へ。「町を歩きながら『日本』に関する質問を受け、答えられないことが多くて……。英語の力を向上させたいとＲＡを志望したのですが、日本語の難しさを感じているところです」。

「留学生と寝食を共にし、日本に居ながら留学気分が味わえます」と話すのは、ＲＡ１年半の小野拓也さん（文４）。

韓国の檀国大学に留学体験がある小山内大輔さん（経済３）は「帰国する時に『専大に来てよかった。あなたたちのおかげ』と留学生から感謝され、次のエネルギーになりました」。

留学生に「教え」、「教えられる」ことで喜びを知る――。６月20日から「夏期プログラム」が始まり、新たな短期留学生との生活が始まる。

米ネブラスカ、オレゴン両大に７人

08年度長期交換留学生

▲　大林国際交流センター長を囲んで長期交換留学生に決まったみなさん

長期交換留学プログラムで渡航する08年度長期交換留学生（英語圏第２期）７人への留学許可書交付式が５月13日、生田キャンパスで行われた。

大林守国際交流センター長から留学許可書と奨学生採用通知が手渡された。留学生の氏名、留学先は以下の通り。

●米オレゴン大学

鈴木　里菜（文　３）
北島　伸哉（　〃　）
村野　麻美（　〃　）
菊池　裕史（ネット情報３）

●米ネブラスカ大学リンカーン校

斉藤　智也（経済３）
池田　真也（経営３）
渡邊　美咲（商　４）

バルセロナ大アンジェルス客員教授が講演

やさしい英語による経営学講座

▲　講演するアンジェルス客員教授

第135回国際交流特別講演会「やさしい英語による経営学講座」（５回シリーズ）は６月７日で終了。毎回50人前後の参加者があって好評だった。ＥＵがテーマの今回の講師はスペイン・バルセロナ大学のアンジェルス・ペレグリン・ソレ経済学部教授（専修大学経営学部客員教授）。

ＥＵの特色や有力な加盟国のひとつであるスペインの経済、政治、外資、地方分権の現状、スペインと日本の貿易や投資についてなど幅広く解説。会場からの質問も活発で、アンジェルス教授は分かりやすい英語でていねいに答えていた。

◆国際交流センターからのお知らせ

文学テーマに５回シリーズで「やさしい英語によるアイルランド文学講座」開催（参加無料）

第136回国際交流特別講演会「やさしい英語によるアイルランド文学講座」（５回シリーズ）が６月14日から毎週土曜日に開催される（５回シリーズ）。随時参加できる。

▽日時＝①６月14日②同21日③７月５日④同12日⑤同19日。いずれも10時～11時30分

▽講師＝アイルランド・ダブリン大学ユニバーシティカレッジのキャサリン・オドネル氏（専修大学経済学部客員教授）。アイルランド文学と日本文学との関係を探る。

▽場所＝生田キャンパス10号館2階10209号教室

留学生交流ボウリング大会

第23回留学生と日本人学生の交流ボウリング大会を開催。参加は80人まで（留学生先着50人、日本人学生先着30人）。

▽日時＝６月26日（木）、17時開会

▽場所＝ビッグボウル（向ケ丘遊園駅南口　中和ビル）

※いずれも問い合わせ、申し込みは国際交流事務課へ。